

令和6年度 事業計画書

公益財団法人富士市文化振興財団

1 事業の実施にあたって

富士市文化振興財団は、財団設立以来31年間にわたり、富士市文化会館ロゼシアターを活動拠点として、様々な自主事業を展開するとともに、会館の管理運営に取り組んできました。

開館から令和5年度末までの会館利用者は、累計で約1,270万人余り、自主事業は、1,268事業を数えるなど、地域住民の文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術の発展に貢献してきました。

令和6年度は、当財団が富士市より5年間の第5期指定管理者に選定された初年度となります。今後とも、利用者に満足していただける会館の管理運営と事業を展開していきます。

施設運営については、利用内容に応じた提案力を向上するなど、利用者に提供するサービスを高水準に保ちながら、催事の円滑な実施及び施設の利用促進に努めます。

施設管理については、長期的視点で経年劣化による施設の老朽化対策を講じ、計画的な施設保全を図るとともに、迅速な修繕対応を行います。

また、災害対策については、災害や緊急時における対応力と防災意識の向上のため、消防訓練の実施や防火管理講習等の受講、危機管理マニュアルの整備等を行います。

自主事業については、富士市が策定した「富士市文化推進基本計画」に則り、アウトリーチ事業の拡充、地元アーティストや文化活動団体への活動推進及び支援、SNSを効果的に活用した情報収集と発信を行い、多種多様な自主事業を積極的に展開していきます。

市の受託事業については、富士市総合文化祭における団体へのアドバイスや富士市展の運営補助、紙のアートミュージアム等の各業務について、協力体制をとっていきます。

財団は、今後も市民が利用しやすい会館運営に努めるとともに、市民が様々な文化芸術に触れ、楽しめる環境づくりを行い、今まで培った31年間の経験と実績を活かして、文化芸術事業等の振興に尽力していきます。

2 管理運営事業

(1) 施設運営

利用者に提供するサービスを高水準に保ちながら、積極的かつ柔軟な貸館事業の展開を推進し、催事の円滑な実施と施設の利用促進に努めます。

近年の少子高齢化、情報化等の社会背景を踏まえ、時代の変化に対応するため、次の5点を主な取り組みとします。

1. 職員における技能の向上と専門的知識の習得
2. 提案力向上のための上席職員による各研修の実施
3. 利用者ニーズの把握と研究
4. 若年層をターゲットとした催事の招致
5. 大規模催事、研究大会、コンベンション等の利用促進

(2) 施設管理

長期的視点で老朽化対策を講じ、計画的な施設保全を図ります。

効率性を重視し、これまで培った管理経験を活かして、以下を主軸とした施設管理に努めます。

1. 施設の機能維持と安全性の確保
2. 迅速な修繕対応と中長期的修繕計画の策定
3. 衛生管理の徹底
4. エネルギーマネジメントの取り組みと推進
5. デジタル技術を活用したサービスの研究
6. SDGsの取り組み

(3) 災害対策

災害や緊急時における対応力と防災意識の向上を高めるため、以下の取り組みを推進し、職員の防災意識の啓発に努めます。

1. 消防訓練の計画的実施（年2回）
2. 防火管理講習等の受講機会の拡充
3. 危機管理マニュアルの整備
4. 救命講習等の実施

3 自主事業

(1) 自主事業計画方針

令和4年度に富士市が策定した『富士市文化推進基本計画』は、「こころ豊かな人を育てる文化のまち～文化がつなぐ人と未来～」を理念とし、①文化芸術に親しむ機会の充実、②文化芸術活動の活性化、③文化芸術を生かしたまちづくり、④文化財の保存と活用、という4つの基本目標とその目標を達成するための施策を示しています。当財団の自主事業におきましては、このうち①～③の3つの理念及び基本目標に則り、富士市をはじめこの地域に根差した文化の創造、鑑賞機会の提供に努めます。

①文化芸術に親しむ機会の充実

会館に足を運ぶことが難しい方々が気軽に文化芸術に親しめるように、病院・福祉施設・幼稚園・市内まちづくりセンターなどへ出向く出張コンサートを実施します。また、子どもたちが文化芸術を体験する機会を充実させるため、小学校の音楽室など、アーティストと子どもたちのコミュニケーションがとれる規模で、音楽を身近に感じられる機会の提供を目指す小規模な演奏会を実施するなど、アウトリーチ事業に力を入れて取り組みます。

②文化芸術活動の活性化

若手の芸術家を対象にした美術の公募展や、地元出身で音楽大学等を卒業したばかりの新人音楽家の演奏会を実施し、芸術家や文化活動団体の活動推進及び支援を行います。

前述したアウトリーチ事業の演奏を地元の新人音楽家に依頼し、若い世代の演奏の機会を設けるなど活躍の場を広げていきます。

③文化芸術を生かしたまちづくり

市民参加型事業を通して、世代間交流を図る事業を展開し、文化を通して、癒し、感動、喜び、生きがいを与える地域社会づくりを目指します。

また、学校教育の分野において、子どもたちの文化芸術への関心を高めることを目的として、富士市内の小学生・中学生をロゼシアターに招待してオーケストラの演奏会を体験できる招待コンサートを実施するほか、市内の中学校にプロの演奏家が出向き吹奏楽部の指導を行う「指導者派遣事業」を行います。

これらの自主事業をすすめるにあたり、採算性が認められる事業については、共催等コスト削減や収益性をより重視した手法を取り入れ、効率的な事業の実施、観客動員を実現します。また、文化推進基本計画等に基づき取り組む事業、採算性の低い事業等については、市以外からの補助金、助成金を積極的に活用

します。さらに、YouTube、X、LINEなどの情報サービスを最大限に活用した情報の収集と発信をしていきます。

開館から30年を経て、これまで培ってきた知識・経験を生かした魅力あふれる事業を展開し、富士市の文化を伝えられるよう努めます。

(2) 自主事業の概要

自主事業は、事業の目的ごとに「普及事業」「育成事業」「創作事業」「交流事業」「鑑賞事業」「広報事業」「共催事業」に分かれており、令和6年度も各事業に応じたプログラムを計画的に実施していきます。

普及事業では、クラシック音楽の普及と優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的とした、ふじ少年少女芸術劇場「小・中学生招待コンサート」や「小学校学校コンサート」等を行います。

育成事業では、未就学児でも入場可能な「ロゼこどもスプリングコンサート」や「ロゼこどもコンサート」、地元出身の演奏家による「新人音楽家による演奏会」などに加え、吹奏楽に親しむ中学生を対象とした「シエナ・ウインド・オーケストラ指導者派遣」を開催します。展示部門では、23回目となる「新進アーティスト作品展」を開催します。

交流事業では、地元文化団体の協力のもと、館内施設を活用した「スタンプラリー」や「トレインフェスタ」を開催します。アウトリーチ事業として、市内のまちづくりセンター等に出張し開催する「コミュニティ・コンサート」などを実施します。

鑑賞事業では、幅広い世代が様々な文化芸術を楽しんでいただけるよう多彩なジャンルの公演を行います。ウィーンフィルやベルリンフィルの主要メンバーを中心に構成される「フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン」をはじめ、劇団四季ミュージカル「ジーザス・クライスト・スーパースター」などのほか、根強い人気のある落語公演「春風亭一之輔・桂宮治 二人会」を実施します。また、アンケートでのリクエストも多い「葉加瀬太郎コンサート」を予定しています。

共催事業では、実行委員会形式で実施する「ロゼピアノコンクール」の運営をサポートし、演奏者育成の支援をします。また、人気公演や動員が期待できるコンサートなどは、共催等の手法を積極的に活用して実施します。

広報事業では、多彩な芸術文化情報を広く市民に提供するため、「文化情報誌ロゼ」や静岡県東部地区を主対象に総合チラシの新聞折込を行う「ロゼナビ」を発行するほか、動画配信にも力を入れ、自主事業の周知に努めます。

令和6年度も、市民のニーズに幅広く応えられるよう、多種多様な自主事業を展開していきます。

4 受託事業

富士市より下記の事業に関する運営補助業務を受託します。
富士市総合文化祭は、富士市文化連盟と連携をとりながら実施します。

No.	事業名	期間
1	「ふじ・紙のアートミュージアム」 施設管理業務、受付案内スタッフ手配業務	通年
2	「富士市展」運営補助、受付案内スタッフ手配業務	通年
3	「富士市総合文化祭」運営補助業務	通年